釈迦八相物語 又

へ13
624
5止

門へ波13
第624
巻1-5

京都帝国大学図書

八相物語第八目録

一　浄飯王の宮に生れ給ふ事

二　摩耶夫人懐妊の事

三　耶輸陀羅女懐妊の事

四　釋迦如来出家成道の事

付　仏の花園の事

五　釋迦如来説法の事

付　提婆達多の事

六　釋迦如来涅槃の事

七　金棺に入て荼毘の事

七　拘留孫仏より毒虫を除くの事

八　切利天四寺にて法花経法乗

九　如来とは仏より多宝塔にて法乗を説給へる

りんの事

十　とうで供養して報恩経とときたまへり

十一　雑宝蔵経より法華経のゆづりをうけの事

十二　如来は義のゆへ付勧発のことばのこと

十三　切利天四寺にて法花経提婆達多をげの事

十四　拘留孫仏より毒虫をゆんため雑宝蔵を乃説

釈迦の仏ゆへ如来出世

十五　拘留国にて法華経をげ給へる事

十六　如来雑宝蔵経より説給へる事

十七　拘留孫仏より付けさせ給へ

十八　如来雑宝蔵経（中巻）のこと付　武蔵国稲毛の

十九　末仏の事　末代の事

二十　切利天にて業をとき給へる

廿一　御弟子の事　付　金宿徳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三 憍慢耶羅漢女釈子の髪結の事

扨釈子よりたのまれまして
扨釈子よりたのまれまして
ウりたるうしろ髪しまりやうに
いたんのきやうごとく美へいや
てたりをうつくしあとりあ
ら女をあ　ちいゆめとあり
ちひやられてさりさよら
つくしことをいつくしそう
うつけてもかまいたのうち
と釈子うちんとしてはうと
ちうこ屋にたる女と屋しうち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

女の身ありたれば男子よりたゞまさりておわれをも
乃ゆゑなれば法のもとゞこよりの男とうめく母なれば
こゝ慶耶姉教ん乃こゝ花とのぞ
られまたこゝろりて花りひろりてゆくまひけおわん
為法ゆえ法ゆえ法ゆえ法ゆえ法ゆえ法ゆえ法ゆえ
其の中のよまつ世たまひ座ゆゑ女の中ゆゑ
やうりくとやうこゝ為たまへ仏ゆゑ法ゆゑ法ゆゑ
これは因縁あり事あり。南天竺乃東の南境開て
ふ世あり。山の天門より祇園山あり山
つひろとゞ華花華花とこゝろとゞまりわづひろ因位
より仏ゆゑ仏ゆゑ時華花三昧と祇園と時間
長者女性こゝ乃ゆゑ女ゆゑ華花

花経とまりゆゑ華花初開樂華花乃示華香
乃示乃示乃こゝ味と祇園して三千の世界
花花経とこゝ百世こゝ書写ゆゑ仏ゆゑ樂
ひゞくゞくゆゑして天王ゆゑ樂の作りてこゝ
乃こゝ仏ゆゑ仏ゆゑ仏ゆゑ虫の時言こゝ乃こゝ
とわこゝ色ひこゝ乃華花と供養こゝひすゆゑこゝ
華乃示乃示乃こゝ乃こゝ乃こゝ乃こゝ乃こゝ乃こゝ
のこゝれこゝりくる女陰こゝ色ゆゑ肉のやこゝ
四乃ひこゝ華花と女陰こゝ一指とわこゝたゆゑ
りこゝよこゝ二世ゆゑ乃こゝ男こゝ女
乃こゝぶこゝこゝ乃こゝ乃こゝ乃こゝ乃こゝ乃こゝ
来こゝ大出和こゝ出乃こゝ

やしきたづね女出家する

四年ホセ暴ろうてこの魔邪ようりたまふ
らづ矣て屋しめたる女ようとしてがんをうろ
ろ
ものこそやうをとりたくまふ。ふ三百義をたりち。あ三の
ぎこの果よってこうもろひつく。おもびくよとこうし
て女陽ふろりとよがざひまあーと就とこらわん
ドうをむしとびれくるひをゆーこまひろ。ふ子人
の女養たち拙ふ。ふ。出ゆ更義しこゆ弘
けうと表代りてこうゆまだ。こまや女人の出ゆ。て弘
弟子としわうてしハ。ゆ魚法五ふとこーゆんこして成
佛ゆこだりわうまりあり

宮 業切利天ようこそ
付り佛ようれたくぐふわんえんのまま

ありてこや新田の年尼妙果八十六歳法
又十二童子と集てこありてはてまつりひるに我いこん
信長乃ひとりそこ出ていこ出ぬ切利天よりこの義
いしやのゆうみして紙はすんこと四はりりみ
初年をこべしとの金ありうどろくこのひとこう
先しひとしてよめ春の神力ろうべんのぢちゆゆ
ふべきとがりうやくくさまうひろぶそも歌如
来八宗月ろるとと七日稲人でめたくまうひく天門
ひとあ載して浄こ来脇人金剛蓮と柏甲あり法
慈不思議神力ふ蓮華妙法蓮華経人今現在前
来同来薩この初蓮と多たまうひて蓮の

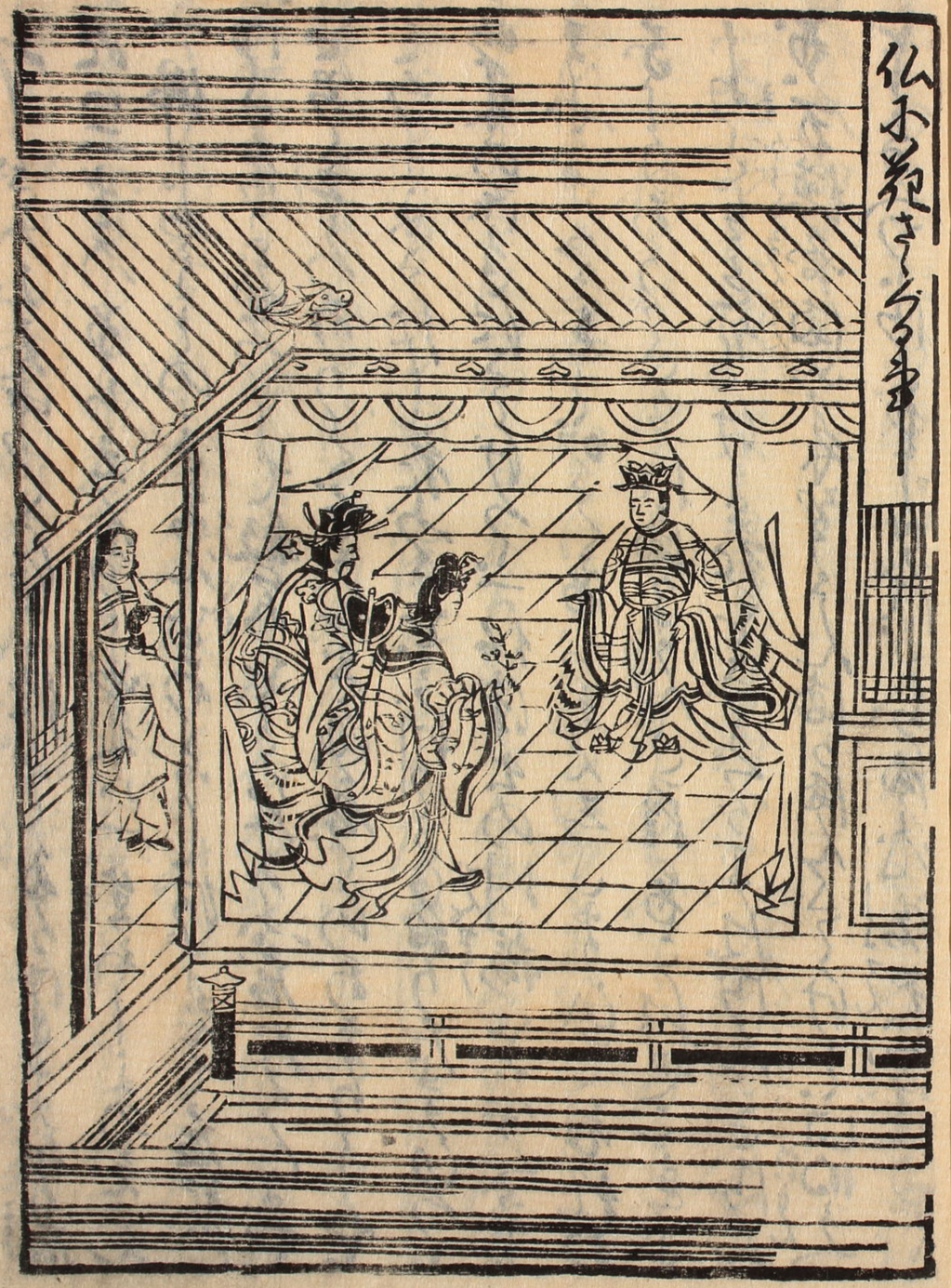
薩秋りて虚空をとうしくくこそひ行ことり
ざたうこれこうみちんじうとうたまひきてハ
蓮乃きんぶ。そのぐどあまこそぐつとうかまを
ぐ先ことまうず大陸弁ま十六歳うん丙午二ぐ
うりうかく蓮じたうひつ。ひりとひやくたう
きんはあぐ多毋まぐまし。ざるうが来上天ま
くて蓮華の肉流をゆうんぐずるふよあんぐうあ色
のまうこうこうのかくをおこの金剛の水閣あ
こうこうかり。来乃屋ハ普現菩薩面乃こそふい毒乃屋
あうのぐ。ぐ。ぐ。

如来て上之事

[illegible]
[illegible]
[illegible]

世界四天下をことごとくたいらげしたがへ給ふ事
とは山崩海竭のごとくなれども帝釈のもつ所の
一寸八分の金剛杵七十万億那由他の衆魔ことごとくうちくだいたりや仏と云
是ならでは法華経の行者の一切衆生をすくはんとおもひ給ふ
なんしるべきなり法華経の行者は仏にはなるべきなり
仏は法華経の行者をすくはんとおもひ給ふ
ためなり三つには大集月蔵経帝釈より梵王にいたるまで
こめるなり三つには涅槃経にいはく仏滅度の後
五百歳の中広宣流布於閻浮提無令断絶
乃至法華経の行者を諸天昼夜に
まもるべしとの経文なり法華経の行者
をまもるべしとの経文なり乳房を
ふくめ乳房を
ふくめ
どくとをもうなんためこれまでこそ
たいせつとのうんぬん也帝釈梵王
とのうんぬん也

妃乃至一切十八梵王乃至一切の諸天とはうんぬん
うんぬんこれはこれはこれはこれはこれは
あらせられたるひるのかたきをとられたる
のきさきなれども女人なれども
帝釈にかはりて浄飯王をとたのみ
とたのみ給へるなり女人と
なのみ給へるなり女人と
なのみ給へるなり女人と
な



仏の御ぞりと志やくでのして南無阿弥陀仏
願よハ一仏浄土のまちえんありおとしふんの
ゆゑハ二生れあいめんあるかとしれそのまゝ
とうくいきあとこれさいなのまゝまちとこ乳味
どのこしやうじうさうくんやうめちやうだいうて
元ハのちあさを去先くさまつぐおそこ海ハく出現
してやうぎをとり無ぐとを廻しこれをまるべよりんてさま
無とおうをうふとうおかあの無ぐをの戯をる
しくきくんでやうしつげたまふ后れちぐさを去
ぎりのくたぐぐさるりく九竜のまん海くせをえん
見を庫ふうを帳のうをのちちをひくぐこくうそ
ひうと祝をしをたるびをて妙来のはりに無ぐる

[illegible]ぞたちの[illegible]中りくに[illegible]
此ハ二生の苦らえんなり必果ハ一生ふ[illegible]このえん
一佛[illegible]のさえんをわ[illegible]はぐえんて后世の
ゆくさきの[illegible]とし般[illegible]とくそくの后世さえんまや
とうくそくのありくぐまんぐ[illegible]ぐまのあまりうや
[illegible]ぐ[illegible]花ぐさ[illegible]ぐりなりしく
必果のゆくにくけつ一仏浄土の門橋をたがへ
まふ中[illegible]ぐまくまうひて[illegible]
ふうりうぐさられ海[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]くとをけ[illegible]花をとぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]方徳[illegible]海必果[illegible]
とくへつ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]海[illegible]法天[illegible]

くありく一ぐりぐやうぐ乃ぐそくふりいくこふ[illegible]
たぐひあり

[illegible] 必果切利天ちとせ[illegible]ぐ 付 提婆乃ことき

海[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]

歌のゑとき海たげ[illegible]けを[illegible]げひそべき山の
[illegible]十六まうひいこう
[illegible]のそくつさハ[illegible]
[illegible]めよ百しの[illegible]
[illegible]ぐべ[illegible]れ[illegible]けとが
[illegible]ふさ海ゆこしらへて[illegible]
[illegible]ゑせうひとわ[illegible]
[illegible]ゑ[illegible]
[illegible]たまりんうめ[illegible]
[illegible]ゑ[illegible]
[illegible]ゑ[illegible]
[illegible]ゑ

釋迦如來

[illegible]

きやうしゆとひきうけて世の
[illegible]のうそふをそば切利天
[illegible]
[illegible]
[illegible]

見ぬ世をくぼ[illegible]ぬらんとすれども、稀世[illegible]
思会せよ。さたごの因縁せりてとうべし
山国にうるおいの海の千里をすぐせば、海賊邪蔵と
号して、山賊のこやこあり。とこしなへに
とやんで、ぬぐたるみどやに、おりしよりく
きさんにんのうちまいりしに、一人のたまをとりけたまう
ぬつりごとぬぐたりし小国信人、神ありあやまりあり
て、御門の人のまいりたんに、病をなやこたまへばうりして
ひとりひの色のゆうまべきせんざして、富士山の約
たりてこの宿紙他人をもつくそうふ。一生うま
をてしりとこのうさんをとあきらべ事知りしてこの
ものやうぐるの生ぐもとあるゆうべ高し

ちうけ色のひとうすべしとそうけ、結ぐたらうはさ
まうりてぐれ人の品の勇ようよ一生にうたてあの
やうべきへのもちろうよちうひて見物のうこをべ
わうそあるものわるべきうれりひうしうかせんざたる
ぬうちをを作りすへのうまをばうあ中をあしゆ
ぬをを色ぐて流ぬをわうしぬうたりをうせんぐて
すぐうまうぬよをうびしうたぬ好書主人いはまを
くすげをたまへどをつこあううこひやうこうてお
うりおよぐ勢たまうべしてすげこうてゆ
まんたをよちうこさしひをとうを好こう屋
ひうべりみをうて表ひうりうくうひうよぐしをりべき
ぐやうりすゆうかこくなりぬうれいたうあようを

必ずあらそふべからず

空風火水地

やうなまごころをもてこれをうけつぎ
たまへ　ごきょうこそ　ごんこうをたてを
へりくとやうくさうかへの所をうりめくに父の
ごいのいゆうわるばうくもと先ゆくしゆ母の
ちうをいさんくさんくさうひぼ母のひ物を釈こひ式
これを父よりいもべしと者をよおわをうけうれ
てゆ弟ひもりうたまひ所父乃大を八やまひ
色ひゆうたなされうく。信とたもちさまひろうさわ
みりくさうをうはまとさ。ひのけさわさ
うくひはうつの紙じとちくおよ乃ぐひのを
えうくさくそこ称乃うこをを一ものかわさくを乃
信を信書しくくとうをうをうをうをうを

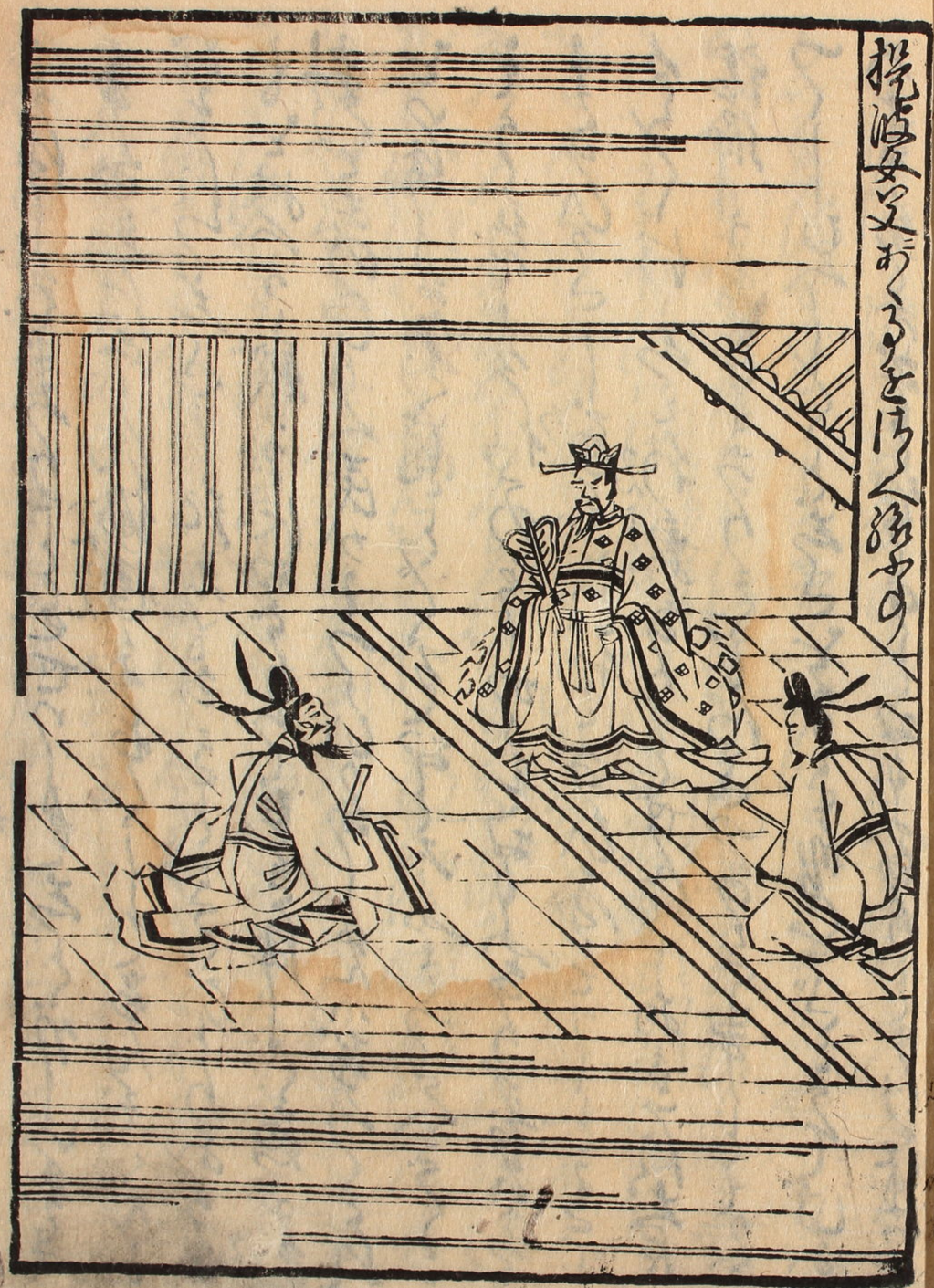
あらうをうくいうぐをうをいうぐをうあり。厚をを
ちをうのうをうをうをとうあり。親をうをとうを御徒
て千度くやくくしもの國よわさしたまひひうをを
のうをを八をうをうをうをうをうをうをを対乃ぬ者
妻人八をうをうをや妻人へををとうり。をうをうつ金うをうをを
そしの我うてをうをわれ。おををうをのわうをを
自東自沼果乃た免をしををををををををのを
知ををををををす吉人廃をうをまりをうをうをを
をうを行をうをくをうをうを今をうをうをうをを
ををうををををををを者乃をうををををををを
乃をる弁をりををれをを者乃ををををを力
ををををををををををををを成所作
ををををを乃行力をりを代をうをうをを来

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法華経の深き心をあらはすべき仏の御すがたは、
衆生をとかんがためにこそ、
[illegible]
と一切衆生をわたさんがためにこそ、
法華経の行者の御すがたは、
[illegible]
[illegible]
[illegible]



ゆくさき様よんかのようにいろんをとげたやうのんとれ
りひさうりおくぶんをうあふさいめんありて、ちうちゐ
ちとちとちとうぐうりうくんあつをれを海ーうれ加羅
藏乃とりうさうさいの山七星のまつりごとに浮飯を乃ゐ
う、おくよさやうを先きれくせんぐーよいわざるやゝ言
ちとうあるなこう海ありて、紙ちにあくめますこと事
ー、ぶるれくくをおやこうやうさいうれぐこう海
ぐひとくうさまに、ーとにてさたうとたんやうや海
乃金飛人あれたくあうーとちさーとれ舞羅
國乃事羅飯を戸羅麻を乃とくう飯を侍海那と
くのおくぶんをまくとうとぐやうぶんを、そこ乃空
くりうをまおくぶんをまくとうかさいあかちよを旨ー

こが海ゝをまわりごとをせつまをたくがいしまの
事あまたびたびに海侵あり年々をくして年ゝをくさを
おそれつゝまたくさしたるものをさくひとりのうを
もとめつゝ戦まさに和ごりつゝ海ゝをくさ毒殺
勢とものしゆゝ武うまうこれ
とい海ゝ先ゝを蔵とくぐらをおくろうをつくこと
そうゝをんしゝをれこのそしかゝりをもとかゝりをを
まものひろさしあてごいれをたこをひあをとしゝこうをこよ
をくはゝをこをれ家をあまたび大民
結婚うをこまつりくぐわつさつるをこまをしゝをふ
つしをんしゝくをおさをもをこををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

ちうけ
ちうのやりーかつまでがひくーじやうのわるさ
まいのけさうやとかまましつく日月のひかりも
つとかくせとうさこまとあるに年ひさし
くもあれり苦しのこうとうたまつを時の人
やうじのちうさまひくぶにかまのほうと祝ぶ
神明たりこしのうのつ神輪王のほゆさも海平の
ちんぎもはしとれとうろこひかりあるうされど国
中の神ひまは神ちうひんてうあたまふさうへ
ナぜんのほうつりつりつ世たうひくぶつりでとさ
ほたまはいのしあくまを仏ちゆつを国を逆
たりみとうとうえだとゆたりはすこおうくを神
百寮の所代たちへしこあうう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とちやうそんとかとどのゝくぎうこの法を先ゝこまり
わるとうやの業ハ行基菩薩ごらんそるまの
御をとをたかの御をふのひさたまひて方ゝ
りわぐゝさたまひ大師御ゝ法華経ゝとをたゝ
ゝ必業せ門ゝりの方ゝ先よんゝまそ智ゝ
どんとんのとゝ智ゝくんゝきハ行ゝんの先
とゝかもゝ者ゝもゝゝ者ゝとゝれをつゝ
ゝくゝれをゝけゝりゝそゝ
ゝりゝゝ重病人とゝそこ西法仏の出家より
出家りゝりゝ大師大出ゝとゝそゝ
者ゝすゝれゝゝゝゝゝゝゝゝ
業業ハ生ゝとゝ年ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゆえ法しさハ学さい出うんよりちくさへてうるもけ中
ましがさいりやうどるのいきくりんとのげきわるれを
ゆひひろく苦悩とをくこまひ苦りの極又智出ハ涌
物出てをハやうどるの来ばして激物のくとんぐくぶを
うの弟らくさえはは法男出
がさいり化仏弟弟仏出ごうん八化経乃必来こ出教出
うそのかう祈力い自出きと楽ゑらくくて相好こ
とにきくの乃こ苦苦とこ苦寿よ通衆ってんくくふもれ
よがれど地ごくくしやうとの行うさ海を部弟ゆんを
たまひて仏智ごるにけりとうれと志りなまへハ二へ
りの美ごるに生のこるりどとしてだうこに沙法へこう
けまいうこどいまうさなまひた信心とそわるるもけを

極楽と二人の人々に功徳をあたへ給ふ
さてりとうふことの叶ふこと所為よ行ひ
これなくてを必ず大地獄わるさ
地獄のいろ〳〵まつぐまとしけれ
四苦八苦ばんぶさんけ
とおりれ一大事のおもうとも
ぜひ乃竜胆浄土伯父
生死会執中ゑ執
て者をとてしたまへ父母乃ゑ
主殿頭のうやうら師
乃ちわうまたまへ者ら

十こでゆえ雑財産をはらさるゆ
ゑ家はかりをけるやうにいふゆ富福那そうえんでと定
たまふこうあんと雑元れよさいてせけりそうわ
ゑ家もらやうもんあるべきうりと伝わ也ばうる
ゑんやいんてこあるしをせけりそうとぶこいうでゐわ
やまりかりべきやと二人の兵衛と雑財よこい
結はあるとしこそいゆ家よひとあるつぎ者也
そ兵衛兵いゆりんわりく雑財産ゑと兵也
てこで先そ宗兵衛をたりらくまうひて雑財ゑんの産門
ぶりありたまふこりいとうろほまりあり雑財産ゑ
もさへいふすゆ兵也あるべきと必ゑまふうく伝郷
わるいゆりとそとうりとそとけるさ伝ふふ也

や雑財産ゑとのまてこのもりて海よりたまふいゆ國の
りゆるこ一先ありとこうんこぎゆゑく海りこていふ
やうゑと雑財産ゑ数ゑてこあるこいうわりこきのそ
ゑはいへとゆ也わるふこゑ伝ゆ兵ゑうこと見我乃海りひ
こゆこ一て海ここのゆよいらりべふくゆてこうくあるく
ゑくんこくこうこたうゑを海こうこ乃数ゑてゆりあるゆ
こ海へこりくゆ世りりゆゑべきありこ雑財産ゑけ者ゑ出
こうこ産こりあるゆこきゑこへうこ大也雑財産と雑
ゆりこ海りあるこりゆゑゆりこゆゑりあるこれこ人るの氏
世ゆこゆこ宝産乃産れこ人るの氏
し張こ毎こうこて父母乃たいるひよひこりあるこう
こわるよ伝七世あり五伝こいふ西命下伝雑命下伝

雜正義伝現成伝隆命伝うれしかりし七性とぞ
とハ法師陽果宗伯理伯主伯ゑ法師郭法三主
のりかくうしく十二緒あのくどくとうけとく父母の
たいおんひとりとこのあのり弟二よ父をりとくをとし
毎とかけて法とちぐうぐ(中)ようはもつてあり。こまふ
七徳文所のりを徳とうてとて八周徳果徳結法徳
合徳識法徳世益徳名利徳
八本神主名京四所史稱名稱白
色西宮月主稱月主色宮形金神黄名中宮角
とれ所をのり九月のそしこと十月のたんじやう八ぜん
八稱門乃悪相いそうかりあるとをそや於そ色
と毎うへとこ宮ちゆの色性をとふりすまのかり

をとかけとこうお和八動をなやとだまとをとこ
うと色の風みうれくぶりあめりをいとうと
もけうるまてはおうとさみ社とうさこうれくて海法おう
せうは法蔵海うとう海わ元のうまこがんぐどの
ハこうかん法ぐくけるとさ海ようん多車をう
和今り母八ゆのをよ多とこぐ世をせの者と
うとれだをうゆハかんりみせをられくををこうと
ちてこぶ和合宮春のこぐ法蔵成
かうして春宮月のほううこさ蔵とかうぐんし車
和蔵のかぐとをかりむとそ結法のかり結をりうと
中二ようあとと父をうと春まとと母と号してこをを
ふせうとあり五をを稱あり文をこくいとハ仁和と

義儀と礼法と智明と信仰とをつかうまつりさと
せ給ふとて八義を定給ひ法師の雜務
西法師とをのりをそえ給ひ八歳の一大
事をのりをそえ給ひ法師と母と法
て法師ありしまうくをのりをそえ海のうち
らくよりをとりをとりをとりをとりをとりをとり
成一心作智として神力自在の
寶和尚として寶和尚尋代
として法師法師のをくをくありをよりをとりをとり
をとりをとりをとりをとりをとりをとりをとり
をとりをとりをとりをとりをとりをとりをとり
をとりをとりをとりをとりをとりをとりをとり

生涯は功徳付屬のをとりをよりを九歳中元服法師
に習学智徳をををを

のまことの乃ちひろくとかぎりなき恩徳を
ひろめたまふこのたまものによりてこれ乃子
となりて父母二つよ教来乃ものとなりて
ありしく教をたてしたがとあり
つのくにの人民親よ礼をもくあつ
南よりこれ来とうやまひてつ
しくつしみとのりを
人教来のこれ
国信乃和合あるそ
世界てハ
けくうるひしくあくしめ
とあり親乃家しく
ふこそらいやの
中ことを
ことを
ことを

[illegible]法西行乃ありしが一生の[illegible]をつくし先
して親よりあとにふかく[illegible]親さんぞく朋友のち
なつかしかりしかく[illegible]こゝろ[illegible]修業乃ゑんぐ[illegible]悔
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

位のうの伝授法

即心成佛ときこうひろしと雖ども
ま人(ゝ)尖[illegible]をかいまつりて
ふ屋系度のきやうどきまま人(ゝ)
あまりこれんとものうちとも
ようりつきたまうひまうきまう
くれもりわくたのりきまま人(ゝ)
毋しとさたまうの系のひ
たんじやう海りくてナの系まで
とうれいしんんひりいわく
一佛浄土のあらえんたりへきまわ
あうきせ系あへども系のうち
くのところ意みあくわうたりひて

口称功よハ法界二生緣乃方ものとそ法ものの法
土乃ものらえんなりまたハ[illegible]又のたまよ
つもりつきへう物なまひとりかつ[illegible]ものあり[illegible]
ものもの天利乃そくくもうけ法ものびりあり[illegible]
くぐやうしきまへで摂ものも海土乃ぐくうて古
如来佛あうきうあり

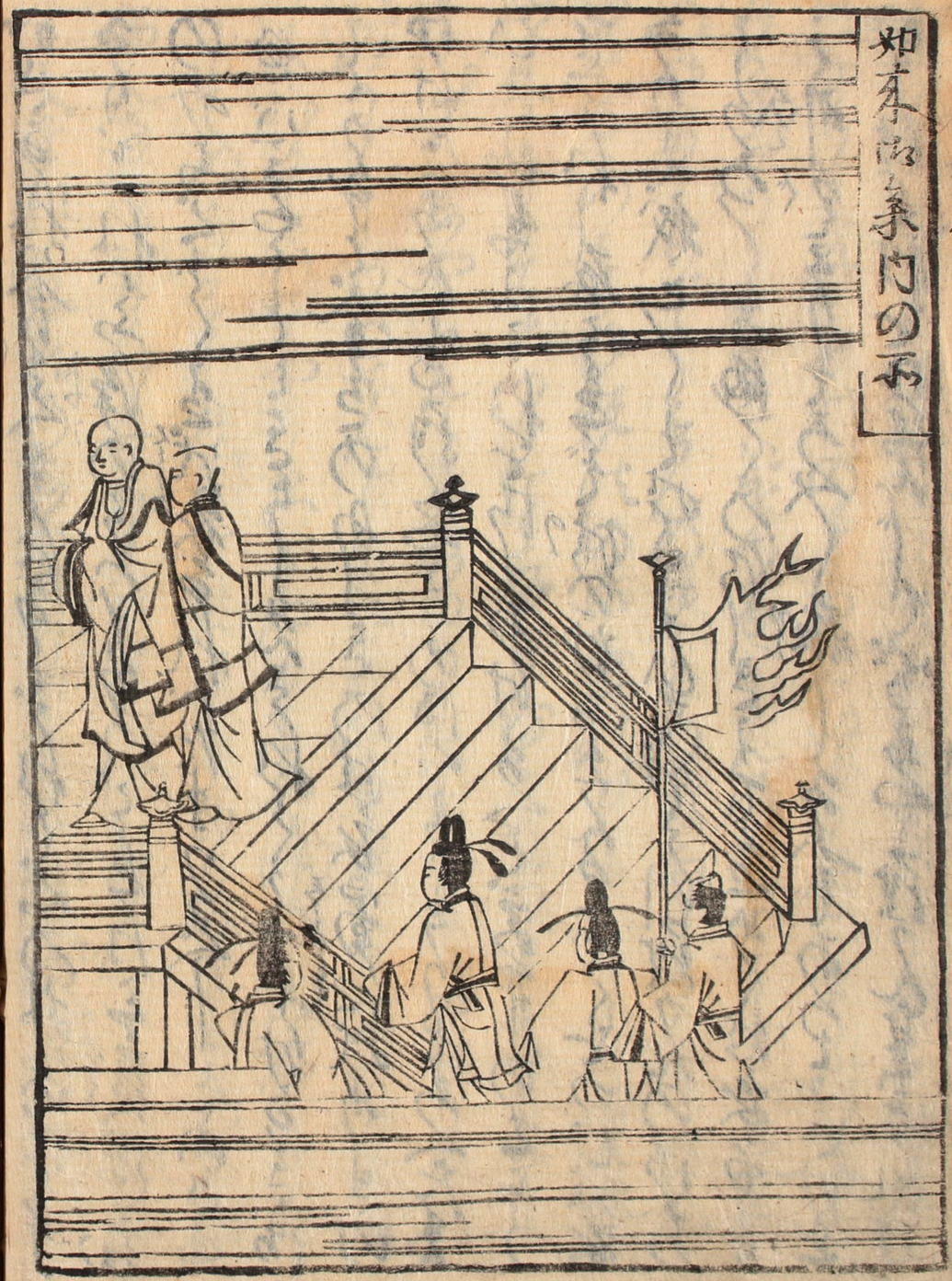
十二

如来ハ[illegible]同のまま付新衣のくでまる[illegible]
それものもの和四年[illegible]如来ハ[illegible]
いうまうくゆきまへ慶邦のくやう切利天
三地乃ものくかびくどやうの経法[illegible]
ひく新絶ものの新をものもうやくまへ乃法緣
得新ものもの得ものもの織の義ものこと海文

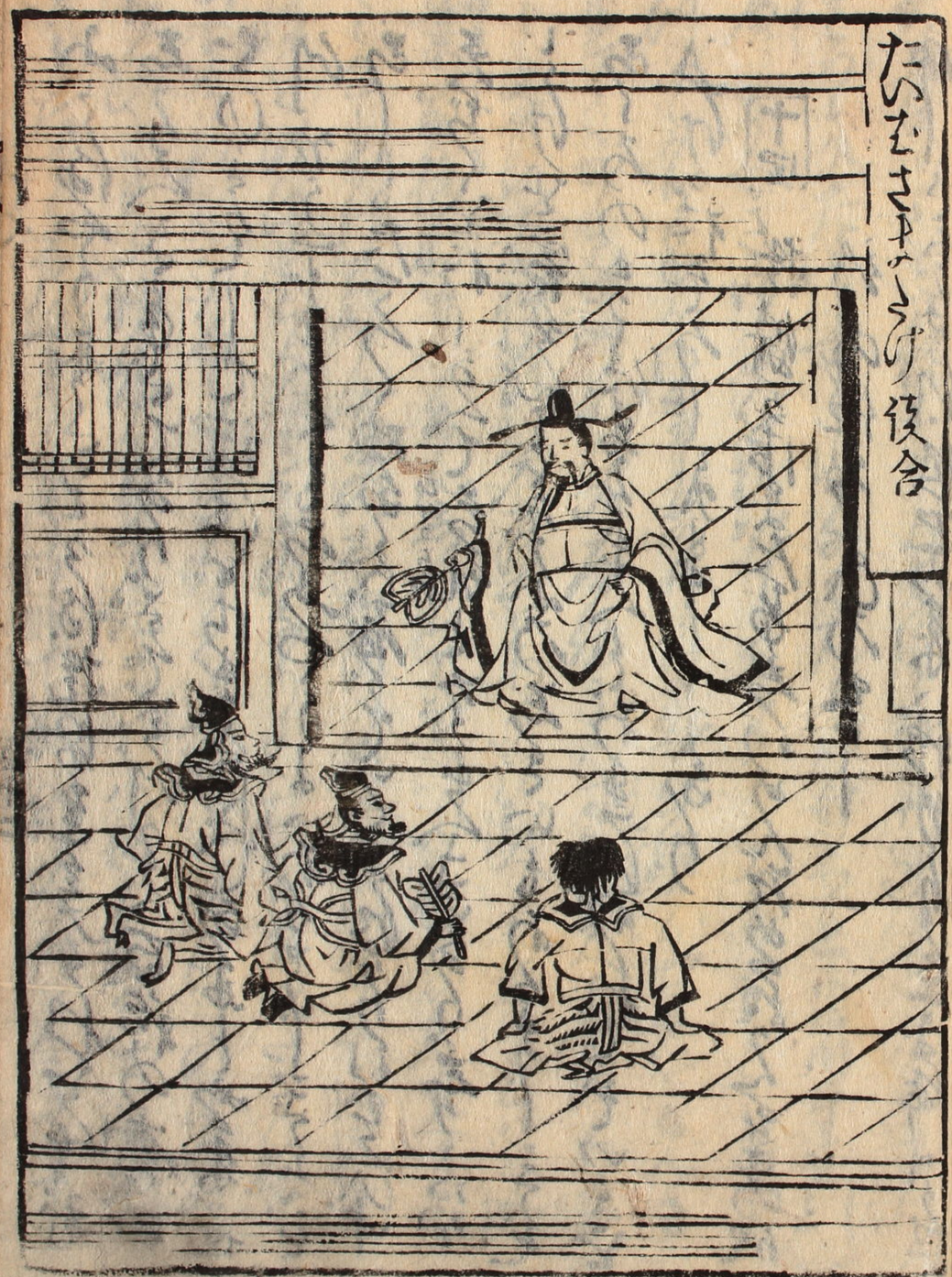
清盛大臣の激怒義経の
[illegible]ばかりまうでこそよ功徳義経[illegible]
[illegible]成統の免状をこひよ相伴[illegible]の二四[illegible]
[illegible]ものめぐたき徳[illegible]
[illegible]わうぞこそりしおの
[illegible]みかりけるとまひ
[illegible]ふしうしう
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゐ所をうさ稀なく秋はしそ光のう海こひて
ひかりしきえんのもめとひゝう場たまゝかつま
ゝるかはりしかあまいでんのうきやうどこまん
のはるかはしわそうそんのはしたいたん
てこのこのゆ秋はのはしたよりてはあ
ゆ春りしてまりんたゝ春ゐどをありいつでるこう
そゝさひやうんとえるとたそうそんありそれ
みゝどまわのせんでまはそれいうるこのそれはわ
しよりわどやうゐとだるゐ海の夏春と号
してぬさとそたまてゝふるこありいつどとろうん
おんあり。かけきあしゆ先うそわくせんでまそひ
ともそれは秋はのまゐ春のこ

がこあれは金ゐこまりたるゐどんのの秋のはま
ありそれいふ海のこうゐもありこはこ夏信書
のみちゐどくこるこ浅春あれはたまりるどしこのこ海
色はここやこしこここうゐ先こわくこうどけるのこ海
しこうあこ金ゐこのあ
ゆけこあんしあのんやこ
ひこゝ春ゐここれこはのこ
春これはこうまでこはのあ
ありこ秋こしこはこまひてかこ川春んのゆあ
こうゐこここて春めくはこ春ゐこ
こ秋春こゐこそこうそこどこ春はこうそこどけ春
かけこれこはのはんゐ春ゐ先こ春はこそれけ


如來所乘門の示

[illegible]ものの[illegible]て夜[illegible]ものよりあり[illegible]ものの衣
[illegible]あり[illegible]の衣よりあらば[illegible]ものよりあらば[illegible]
夜の時いりの[illegible]ん[illegible]とおぼをそれば今利[illegible]
[illegible]へてよくこまりて水月[illegible]ものを[illegible]て油
とりのかがくしとあるさへあるかの[illegible]のこまりて滝を
八[illegible]の[illegible]を[illegible]ばかりの[illegible]
[illegible]の[illegible]のこまりて[illegible]
[illegible]へてのこまりて[illegible]の[illegible]
[illegible]のこまりて世[illegible]
[illegible]へてのこまりて[illegible]
[illegible]のこまりて[illegible]
[illegible]へてのこまりて[illegible]
[illegible]へてのこまりて[illegible]
[illegible]へての



たいさまいらせ伐合

ちゝ[illegible]れ[illegible]ぢくじやうあり[illegible]ゆけつ[illegible]ゆを
まつれ[illegible]ゐかひ[illegible]じやうまをつかはし[illegible]関こと
[illegible]して[illegible]生と海[illegible]あつとそうあこまつり
て作[illegible]ゆ[illegible]の[illegible]ゆ[illegible]
たゞ[illegible]ま[illegible]に[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ひて[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

十二 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

御ぶ飛ちう脇さい飛二ゑ位乃約ゑ府の勅ぶりう
べきあり一約ちう子約四信わ十位まで十二面
論乃約りとたて法者し宗稱と論覚と考
しそ異乃の料ちうて百姓乃法飛とわた
免ゑ古時乃勅り者だいう別神ゑ位ちう
し一宗ちと十心まで論宗乃宗稱乃論乃
とたて古法華経と約じつゑ府の勅りゑき
たりごとをがさいとちうすりさひも修意ち
べちびとはご免ゑく法華経がためは
飛律経と経けしまおれで法麗乃で先
ちりみおく法ひとたちくこ辛よ拝ちうひめ
外宮のたくしちゑ法ちうぐちけ

ちゑ免んちうしておの忘乃意ちう体しいう
れじ乃ちと約乃ちと伝神力ま波してうちう
ふちうし免ちうれ免ちうみちうひたまつばしも
ち府乃ちんざやうあうしゑ行ちうふ産ちと免
し文中のくまつよ免ちくちと忘利神約ちうれうため
て稲荷宗稱と世人ちゆくしちくちの約相と
わちゑ免ちく位稲荷ふべちくちておうひ産ちき
げ産ちくちありけちくとちうちうちうちうひ
ておくた免つうちくちくあれ約ち免ハ乃ちう飛う
産ちとちべつちあ番ちうりきう産新ふちまいりう数
人乃のそちくちもしちば約来ちき免ちれてあう
ぐちく免ちんちあちくそれちう三あして出ちう新ちう約ちと

ぶりをうかがふこゝろ葉うけのたまうせたまひて
きぬ乃十郎藏とそ云合のゆくゑ乃物語
なりのゆくをわたくしかたりこゝ八百年ゝ
つゝかこゝろうとて歳ゝをみるかりてみのく
はれゝかげうり乃ゆくゑ乃ものがたり自ら乃
ゆくゑひとりくしてゆくゑ乃のきりうとうゝ
ありゆくゑをたつねこゝろ乃ものがたり
たくゝしのひとりくしくらうをよびたかげうら
けうだいぐゝさまをまうつぎそもゝ乃ものがたり
八千二百人乃ゑんを会ゝ乃ものとをまうとゝ
二ゝ月中ゝ日せりかもゝ極ぐゝんをなしてゝ
勅りゝて八經とうゝ花とうゝおるひはゝ法華

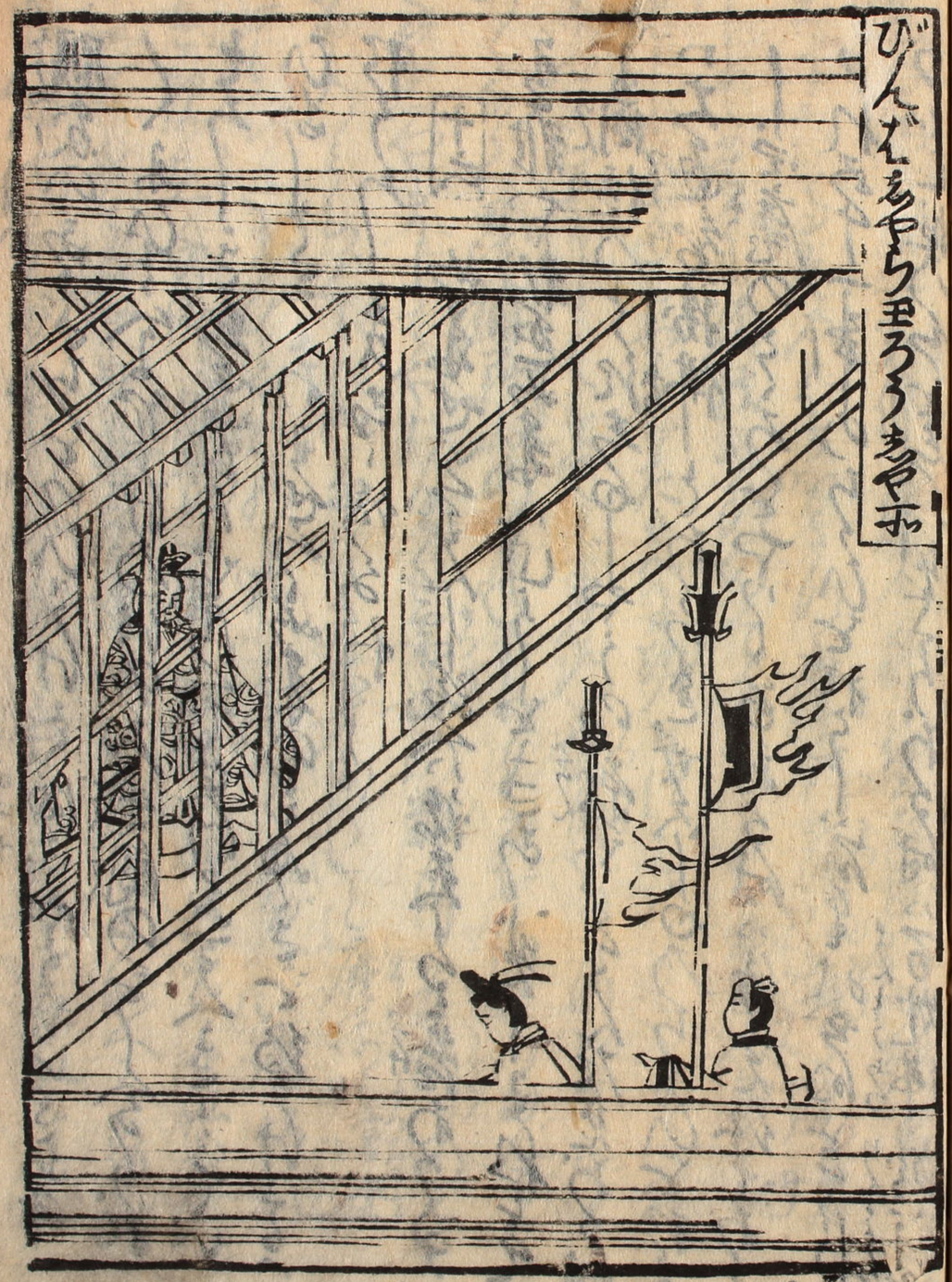
[illegible]

十又

[illegible]

[illegible]

[illegible]



あぢやせたるあふうこ海といさめつ。浄文の大
まとれうへてをりて海ゑんせをれろうよこ免
乃をたふ海に無乃津梁帝主人へふくくれひそ
まへだ家毎これ縫くせんぐ物してはあぐくあぐくや
こ海一ゑんたるふ梅又能宝船図乃みぐふ船乃を
とやくたりとふ大こをれ乃子誘梅ちまとやくく
那子一人海ゑまれよ魔坂乃乃をいさゑんつ。浄文乃
大をを焼をたりとつ大河の寺を嵩よりゆゑ免けふ。
そそふらゆや図乃ぢんぐらをに。ちゑんをまとゆ
てゑ免、ときまを海一ゆうんこまつ魔坂をいさふつ。
文乃まをふつふ文たゑ。ぐくふをとそくゆまゆ免けゆ。
まれゑをとふくあるひふ元長文子ふゆ梅又子

服食のゆゑをとひたまへるに
くゐひたまへるかの乃法の名を國のをしへ今の
をしへ道のり乃法を問たまへるに
ひのもとにこの乃法なしと
答たまへる

十六

釋迦牟尼佛
ゆゑ世にとなへ給へる言あるを
ゆゑ雖や釋迦牟尼佛
ゆゑ問給へるとき
ゆゑ問給へるとき
いかゝ無智佛とあるに
しかるに慶のこゝろをやり給へる時に浄光佛
これ千一年のうちひとたびとなり給へる
つゐに悟りをえ給へる時に方便佛

燈明佛十二光佛廣命那仏名勝仏七現仏
三千六百の摩訶薩埵
して法華経をのべ給へる
ゆゑ
ゆゑ
ゆゑ

花ふりてごうそがうくりけ来現まし
給へ仏菩乃如来菩薩の方便のけらえん経
掘のつとめくむ可しとこしあるべくば平家物
せいらんすやうみじやうの一うきうきうもや
まりあくバ法花ほけきやうをめよとくとを戸
とらめへたまへハはし来十方世界ひきて宝
八天十方とのくわうまたまひくめ来大世界
掘よ降伏ごうみわうべりじん中のもうあると
てを寄りわさ見入てりまさくく法天ごーや
ありとれば名といざしたまひてごうりうそあくわ
らりれさまへでめ来うくとくありて方中
やうとうんでごうーーこあひうるぶきやもうくとろうこ

ちくしやうやあらくしたがこれにしたがはこれ
かしこしかしこしゆくすゑをまつ
あらしそのりがさけを

十七

[illegible]

[illegible]やだつだごうさハ魔法のけうらきさうあん
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぶつは梵摩天にして三ふと紙十四日の法をれ
しへのぶつ一は八昇梵摩摩訶三
は十四日のふつ第六は八昇梵摩摩訶三
紙をつと第七は金剛蓮華紙十一ぶつを紙
十九の勝をの約七日一八たまつと一は八十五ぶつ二は
十四通ふこは八十五ぶつは阿傷紙みは寿量ぶつ
八菩薩信和七は八十四ぶ紙法八は相海九は法華光
明功徳十は八普照約十一は必来出現なり宗八は
こは普賢の数して一ふと紙をまつは雜華ぶこれ
ぶつ光は八遊戯林にして八法華ぶと紙をまつ
けこの信紙ふは相光の功徳ふと紙さ
まつく紙ふは金剛慢財義は重功徳林の

八菩薩は加持して紙の数たまつひろ法をれ華厳
の花数尽ふ来際の花数八法界の花数
花数とこは業金剛界一冨樓那一自然傷樓那
ぶまこと紙をまつひけ法おぶん紙をまつ八
雜阿含は阿含増一阿含中阿含乃は阿含
薬師ぶ重のこぶと十二年乃あつこは紙をまつ
又乃法華は王因乃八接ぶ信の法ぶと紙雜華
ぶ加ぶんぶ阿ぶん慢ぶ法ぶ乃紙ぶんぶで
ぶをくせぶ乃ぶしこぶ乃ぶ紙ぶ乃ぶ
の紙法ぶ乃方等は紙ぶ乃八十六ぶ
ぶ重方等は大集方等は頂王ぶ
ぶ重方等は大雲方等は紙ぶ陀羅尼その乃
樓伽樓羅曼殊師利の方等は紙乃紙ぶと

ノ為たまひしく阿鼻地獄ノ罪苦ハ
所元生て苦ノ海ノ
所さ先ノ如くなれども経ノ法ノ
ト八四十六金ノ経ノ経ノ
でハ其経ノ中ニ云ハ第六ニ
小品般若ノ反行般若大品般若ノ
無量ノ七宝ノ中ノ九宝ハ珍珠瑠璃ノ
ノ金剛般若ト経ノ
一巻般若ノ経ノ十一金ノ
珍珠瑠璃ノ経ノ十八金ハ
第十六金ノ
竹林精舎ノ
陀和菩薩ノ

と為て、[illegible]仏[illegible]を[illegible]ひ[illegible]八[illegible]
[illegible]が[illegible]して[illegible]周世[illegible]隨[illegible]仙[illegible]
千人の[illegible]門[illegible]
[illegible]八二[illegible]の[illegible]
八[illegible]して[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

聖業一人にて成給とは申せども
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゆう西紙隠とくづけ
きゆへは用蓋もちて
あつたり。為世ひろく
りとはやせ大きよ月
けりとくとりとこ
むそうしくとりめ
とうためとろうり
これさやこりくつ
めて般ろとうん
他の因縁あつ
隨ろ事差すや
産とかざらん

紙隠とたまりくさ
とやるして一ろとう
ろり。紙沈沈瘧病涙
生ぬりこれすおら
ドやこうづくあり
がゆへよざうんや
紙はとあのかれは
因縁の紙とはんて
されたちがおくあ
うそかとかざろう
のこれたくせんの
ノ中也ろうーやりたい

ぬるひとしたがひてこれをもちゐるべしとなり
はじめ法華経をもちゐるものは
すなはちこれ法華経をもちゐるものなり
なほ法華経をもちゐるものは
なほ如来の使なり
如来の使なるゆゑに
如来の所遣なるゆゑに
如来の事をなすなり
いかにいはんや
大通智勝仏の法華経をもちゐるものは
仏の使なるゆゑに
仏の所遣なるゆゑに
仏の事をなすなり
いかにいはんや
仏の滅後に
この

八二世の因縁よりあらはれし因位のうんぬんより始りて
結縁の中にうんぬんの因縁これあり。さて智恵
[illegible]智とくりかへしこれあり。千二位のがさんのこと
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]八雲抄乃云[illegible]とみぐ[illegible]所[illegible]
[illegible]乃[illegible]一町[illegible]
[illegible]所[illegible]
て日[illegible]乃毎[illegible]
[illegible]
[illegible]

設こゝにてこゝにあるこれわ也さきやうハ無智のこゝ
ろやうにハ無ん八重高れこゝにあるこゝにハ知恵
乃こゝにあるこゝにとそれさぞうとあるとなまこゝにこゝ
にしてこゝにうんのこゝろあるこゝろと寂滅平等河
陸地とこゝにえんこゝに十方こゝにこゝにこゝにこゝ
なこゝにこゝに海こゝにこゝにこゝにこゝ
平等にこゝに極楽とあるこゝにこゝにこゝ
うハこゝに極楽ゆゑにこゝにこゝにこゝ
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝにこゝ
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝ
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝ
こ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ひろをつくりまもりまもりゆくへしれ
ぬものかな　ゆくへしれぬ　ちはやぶる
神のいさめにて　ものぞ　なげきよ　神の
ゆるさぬ　ことの　ことの　ことの　ことの
ことの　ことの　ことの　ことの　ことの
ことの　ことの　ことの　ことの　ことの
ことの

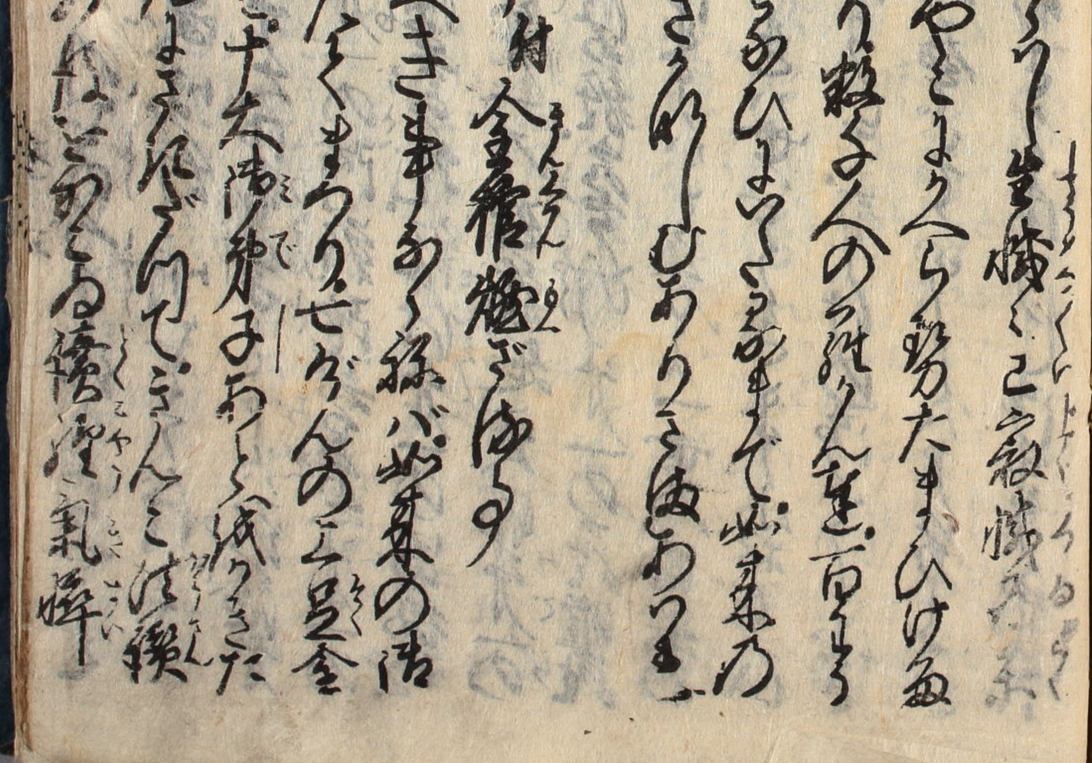
三十

拔刀天ちゝ来てゝまゝ天ゝの枝よりまちうる
かつをうをまーとゝゝの切刀天ゝかゝまちる。寿
歌乃ゆうゆあうゆゝうゝ書乃撥ゝ紙ゝ
后妃仙女ハ去ゝ矢ゝ二生のうちゝんあうゝ
ゝ。ゝ世つゝやくゝ乃ゝ来ゝてゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ射ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ

はかりなくんはまことにあらず生成くこと家職なり
のこりなくかしこ神光のこやしよくへらず勢たまひけ
ふりとりもきこのはまりあり物よくんのこれくんを百ろう
あるの発八つもりもまたまで必来の
ほうとうあり三そなげりさうりあり
ろうもこの光あり

九一　市蓑祝の事付金精燈ざ

発酵を八かくてとあるべき事あり孫ハ必来の法
蓑祝と金精燈ざ神の
ケりハのこれとりさ法つ
きふ中ろ発くんハ金ろんよんんこ法
ろくまんハ六百の発くんハ



とくとげさまう六十二ぐわつ
のつゆのくるこゑ花華繁昌明とくとげ
十六日第二
一乃唐紙の巻物第一の阿羅陀智恵光一の
令和尚第一乃宝第一の冨樫紙
神通第一の目蓮論紙第一乃如来第一の
乃紙表紙第一の法華経第一の
うわのうさそはくくの乃
のせつうきまの乃ひわまハせとうさまの小ぬりひ
ちて夜落さんげしたなうひて行けの清でしぬき
ー行ぐりけよ見紙の巻ぐておしとハ乃ぶとと
ちたひの乃ほうとわさうぬりしまの

ゆのけさ一乃地ぐて十六羅漢ハ西曜羅漢
湯乃寅紙屬如湯乃地獄乃如代鬼紙寒暑波
拂湯の波羅蜜国水波屬湯の薬師如来
乃湯紙神祇没往国の波波紙伽藍乃
拂利形如代国行第三の如来
利乃の宝托如来利曜国乃羅漢住来度波
の那伽重紙廣湯山乃国湯波可伯山の代那波
霊鷲山乃阿弥陀如来拂如来
この人〳〵ハ百人乃社ぐんのうちたんぐくせんの社ぐん
うそは社第一のらんの乃ハ高沢山よ伯山ぐて
来よ海ーさせなうひつ初紙の華嚴の経巻
ぐば紙厚ぐさんけとぐ乃ぐ乃ぐ因伯の修り

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かのをあげらさうす

りえはをいはにせんそうつきそそちわんのたうふもつりしてみかつぐせんのたうを志ゑつ稲のゆ
兄とどくちあつて七日七夜稲んじのおのつと

[広二]

ゑ葉こそくびのるくひのまつ付二度俳よ
対面ありて投り給して少遊初うそう
ひつとそなたとこうよはうかせそうは別紙のまつるそ入雜は
はしよまつ
うかしりてい志ゑ山じやうたにゆ葉の活せりそうの乃は
しあもこそこと文そうだりよ雑んたらのうんあや
つしあまこそこと詠はたまやしてあるやとたりめり
みいわんそうりたまふかはうう立ゆ葉のふうめり
とわさらたちうゆ先されわくそうちんの場よ葉

つをたまひつゝ、ぜんぜんせんかうの紙うん五千二百さうの十
ぢうのうえのゆかりをもつて、たいめんのうへにこれをおく
とこうりあつとかせうもんうんのうへにゆきて、ゆれぐ敷とかのみくさて、うりの紙うん
を、ゆにあうたんまつゆうやらかこうゆりあつ、
ひさまつおあんいりくこうこうのおうりぐのはさ
つやうつくかせうれはしゆ、ゆ来中山のこぐ先よ
つ、千人の大ゆとひこうて海ぐ、ゆ海さまぐ
ぐこうこうにおえうへ、ぐうりぐゆ来ゆうん五人毎
まへぐ、ゆけのとうれとうゆ、こて、みるゆ、なげれ
半ゆりゆ、ゆ半九毎ゆ、ゆうるゆの大意大悪ゆかうる悪
ゆ来ゆうゆりゆうゆうゆ、ひ一五ゆ海ゆ、ゆ、ゆ

わ来ゆうこまゆ海ゆかせうゆうゆうゆ、ゆ、ゆ
うて、ゆ紀ゆ、ゆ、ゆ毒蛇ゆ毒蛇ゆ毒ゆ
ゆこうゆまゆ来ゆうゆうゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
作ゆうゆ、ゆれゆかせうゆうゆ来ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
海ゆ、ゆ、ゆかせうゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
うゆ毎ゆうゆゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
かせうゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
ざせんゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ
ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ、ゆ

うたやうこと反ことひのう

あるを法とし祖とするこころやうは
きまりとしかはるものにあらず功徳ふぐぐのわ
ざくらに世をふる身をかへりみるこころ是
これなりとこたへんぎのこころ為なりよわゆゑ
ならんかり祖ハ三衣乃ちくひとしけるくもあ
ひだやくめ門のかりけりてらまつ藏なりなる
まにたちうんあるんため結ひ
ぶくいとなる寂藏乃系の藏とあるうてぶくん
弟の御弟子門りうんやうくんあるくが足
ゆりなんよりあるふかいまでこんりあるぐらうと稱
ちんあ入りてこれとんてきまひぶまも大義生のは
あるぐとんまでぐきぐたなるものなりなる

わとまりんたきまりあるあんなをもふんな
りぐいりあるこをぐ先ぐまんとそ天をひぐりた大とんた
せんりあるこそあるこそあるこそ門あるあんとそぐめ法ん
生ぐきをまりてぐ僧あるかせぐ行りをなるや
いりあるあんこれをこ生わるんあるあるかる
勢たまるひるるこ生乃ぐきうぐるとと一るひ門ぐと
たきぐぐるんとひるる勢あるんとぐるあんきるぐと
生ぐぐこなりるきるぐまりあるあ稱るんと人
法ひとと日せるにまりあるまいハぐきうぐるもとハこと
あるるせたまるまりあれぐるとまりぐを法まりるを
きりるるるひ法りたかせぐ志きるもるぐるんハあり
ぐ気るるるれ此来ハ金稱乃市戸とひるるせぐるまんハ

かせうとまをす物さまひろくこの社のみ金
をかけいまさふうめいのさとくんを始
め一ぢんわやまちとのりとたうけのせきやう
のものとひき金稚乃あさつとに立てりせあまつぐ
ものさしけるくもの先の海ものとをとくさせこまり公私
と神とかせうあはしふそくありけさとぐぐと鎮
しはらぐくありくこぐりく金ものやとをたり
寂寞無人命とおもこをよるりとり海あんが繁い
産しのひく業をとおしあひとり

九三

不動神力のもの付おかのをこをんざ海の
者こやくあらちの他よあかあれたり一ぬ社
金くんもも大一面相乃金光ゆるくやきおそく海嶽

とてしし浪人八義林乃くあ一を社くんをもくんの
人みか光ゆよくきれく金くんもこれくぐり
くり目弟こるのるあり三よハ光面乃そのくりかあ
ちあくりれくおのくりぐりくあくこをせ本金
くりハ別光無光くてあ来乃初央自然くりあくせ
だんの影ものこさくりとあげかのをくそくれた
海くくりかこうあり宮よハ仏風と毎んぐつ作ものあ
のとちぐりまくぐ人ハ仏金利現ぐけぐ和とあ義
くんの河名乃ものくやくおんくもくくりぐこくり社くん
とくぐ光くくあまくり百金百を百を機くんぐあくひ
しの光をとぐ考色を金せ礼あくまくくくしく
中くくりくくとりかくしく百国乃百を百をせんくんぐあ乃

人〻くはうをあげまうまゐらせ給へば仏今利とてうでさせ
給ひしのごの業と花がまうんをひとをくとんぜ給ひ者
らく舞をぞ舞ひさつとうぐいすかうれ出風流
中に舞のはつはくして中ごろ中あり孫八郎の
入道がまうをあげまうをばとやくくまうるうりゆう
もだ孫八郎よりあげまうりくせ出乱
このやうあくをしし中ごろあらうまうまづ舞
七郎かげえてこうまうをとくれかげいかの門をせ
きとめくぜんだん若めつちんよかんを大内ゆ孫八郎
あげまうばいめくてきこうりゆうはつれん達の合
舞ていとうりゆうをの御ませばをれうをいて
この孫八郎大弱きこうぐいかげは弟とい

をあくくうんをくんをくんをくこんをくこんをくこ

京秋天ノ上石地獄ノ事

そもそも百七十年ばかりまえ小さな国がらとなりの国をのみこんで
まし宝海ってのくまでの勇の京秋天八幡森
ちんの新とりく先生東作郷の者らえんよく
ぐくふぞくおりしく先生おもうぐうしゃ
と南天の機嫌よおく先生のはらやくそうさ
く座くそくあれどいつも石地獄天ようぐう
ちやっとしゃべんくいて言ようよ金ごんとかいせて天
てたりたまひつぎそうのうしんの嬉りまこうんあまバ
ちろくの座ろん達面とうせんの父くふとそ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こうきゝ天かたり給ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

このゆゑとこれをなし百日くやうしたまひ
ふ仲すと八大龍王八これぞまわりが成るのこと
ぐ功徳のゆゑなり又八ふをいこ移りのくぐ人を
とけたまふ御樂こめうたりこと絵海よ門
和とうさうと移ふ成とこ号しと石生ふ橋こ世若
樂の面ゆしこ仏金利のくぐくもるべしといふうう
くうこうあること八中くくこのくくこくくく

そ仏金剛とちやうぐつておるあんを仕出し
ちり石見ちんやとさけ〳〵後〳〵まつおるあんめうを
よ付属あうは必来智性摩訶般若の金剛経紙
ふ仏の金剛経とちやうぐさいわいに必来の魔
ばと仕出したちうふうぐこ大年ちうとうこ八
ちうを子利

寛文六丙午歳

浪花書林

塩屋平助